

ふるさと・夢プロジェクト 追加の報告です

先週、ふるさと・夢プロジェクトについて紹介をしました。担当者が同行している3日間は、こちらと連絡を取る時間があまりありませんでした。太宰府に戻ってから、時間的に少し余裕ができましたので、これまで報告できなかった活動の様子を紹介し、ふるさと・夢プロジェクトの最終報告号とします。

☆ 1日目

- ・震災遺構 荒浜小学校見学



最初に訪れた、荒浜小学校は津波による影響がたくさん残された場所であり、心が苦しくなる場所でした。左写真のジオラマは当時の在校生が作ったもので、児童の家に印がつけられています。右写真は当時の在校生が黒板にメッセージを書き残したものです。津波の脅威や命を守ることの大切さを改めて感じることができました。

- ・松島、瑞巖寺観光



午後からは、日本三景の1つである松島と近くにある瑞巖寺を見学しました。天気も良く、遊覧船に乗り、海の上からも景色を楽しむことができました。瑞巖寺は、その大きさに驚くとともに、歴史を感じる建造物でした。

☆ 2日目

- ・多賀城市立東豊中学校訪問

昨年、訪れた中学校と同様、別れ際に3年生全員でふるさと大使の見送りをしてくれました。心温まる交流をすることができました。



・勾玉づくり

埋蔵文化財センターに移動し、勾玉づくりに挑戦しました。この日の行程がたくさんあり、あまり時間がない中での活動となりました。古代の人は時間をかけ、ゆっくりと作りましたが、今回は時間と手間をあまりかけず、短時間で作り上げました。それでも古代の歴史ロマンを感じました。



・多賀城政庁跡、南門等見学

多賀城政庁跡は、大宰府政庁にとっても似たものでした。政庁跡を見ると、太宰府市と多賀城市が友好都市になったこともうなずけます。



南門は多賀城創建 1300 年にあたる令和 6 年(2024)の公開に向け、復元工事をしているそうです。



工事の現場を見ることができ、よい経験となりました。

☆ 3日目

・仙台城跡見学

仙台城跡と言えば、伊達政宗騎馬像が有名です。こちらは地震による破損のため、一時期修復作業をしており、公開されていませんでした。昨年の大使はこの像を写真でしか見ていません。しかし、幸いなことに修復作業が終わり、今年の大使は像を見ることができました。高台となっている仙台城跡の特等席の、さらに高い台座の上にこの像はあります。仙台市を含め、四方を見渡すことができます。馬の上から辺りを見渡す姿は、凛々しく勇壮です。



※以前、私も大使の引率として仙台城跡を訪れました。ある年代以上の人は、

ここに立つと「青葉城恋歌」を歌いたくなるかと思います。眼下には広瀬川が見えており、思わず「広瀬川〜♪」とロズさんでしまいます。

若い時に聴いた歌の情景が目の前にあり、そのことで感慨に浸りました。

写真による紹介は以上です。最後に要らぬ文章が入ってしまいましたが、大使の活動の一部をご覧いただき、ありがとうございます。文化発表会で大使が報告した様子は、校長室からでも紹介したいと思います。